

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 396

| | | | | | |
|------|--------|-----|--------------------|------|-------|
| 所管部局 | 農林商工部 | 所管課 | 農政課 | 担当者名 | 寺田 利裕 |
| 事業名 | 土づくり事業 | | | 事業分類 | ソフト事業 |
| 細事業名 | 土づくり事業 | | | 政策体系 | 233 |
| 会計 | 一般会計 | 科目 | 6.農林 - 1.農業 - 3.農業 | | |

1. 事業の概要

南丹市内で生産される堆肥等を南丹市内で有効に利用した、安心・安全な農産物の生産を振興する。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

南丹ブランド生産者等への支援、南丹ブランドの販路拡大として、堆肥・液肥の利用により、京のブランド産品、安心・安全で消費者ニーズに沿った売れる米・野菜等の生産が図れる。

②事業を実施する必要性

堆肥・液肥の利用推進を図ることは、安心・安全の農産物生産ともに、耕畜連携の循環型農業の推進に繋がるため必要である。

3. 事業費の推移

| | 単位 | 平18決算 | 平19決算 | 平20決算 | 平21決算 | 平22予算 | 平23計画 | 平24計画 |
|-------------------------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 決算額または計画額 | 千円 | 6,876 | 8,310 | 7,472 | 7,220 | 5,850 | 9,000 | 9,000 |
| うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 財源内訳 | 使用料・手数料等 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 国・府支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 6,876 | 8,310 | 7,472 | 7,220 | 5,850 | 9,000 |
| 職員等の従事人員 | 人/年 | — | — | 0.10 | 0.05 | | | |
| 人件費 | 千円 | — | — | 499 | 254 | | | |
| 事業費総額 | 千円 | — | — | 7,971 | 7,474 | | | |

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

土づくり事業補助金 7,220,000円

5. 事業結果の概要

4団体(受益農家542戸)へ土づくり事業補助金を交付し、安心・安全の農産物生産及び耕畜連携の循環型農業の推進を行った。

6. 活動の詳細

| 活 動 内 容 | 活動日又は時期 | 活 動 結 果 等 |
|---------------------------|---------|-----------------------|
| (1) 事業内容説明 | | |
| 補助事業対象団体へ事業内容を説明及び協議 | 4月 | 4団体(受益農家542戸) |
| (2) 事業量の報告 | | |
| 補助事業対象団体から事業量を報告 | 1月 | 全体事業量3737.55 t |
| (3) 単価の設定 | | |
| 全体事業量により単価を設定 | 1月 | 堆肥2,000円/t、液肥1,000円/t |
| (4) 補助金交付申請及び交付決定 | | |
| 補助事業対象団体から補助金交付申請があり、交付決定 | 2月 | 4団体(受益農家542戸) |
| (5) 事業完了検査 | | |
| 事業実績報告に基づき、事業完了検査を実施 | 3月 | 4団体(受益農家542戸) |
| (6) 交付金の額の確定および支出 | | |
| 検査完了に伴い、交付金の額の確定及び支出 | 3月 | 4団体(受益農家542戸) |

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

京のブランド産品、特別栽培米など南丹ブランドの確立のために引き続き事業の展開を図っていく。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
適正な堆肥の農地還元。
- ②当該事業のアピール事項
京のブランド野菜、特別栽培米などの生産には不可欠な事業である。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
予算の確保。